

栄養クリニックの開設にあたり

大学にとって、教育・研究が最も大切な使命ではありますが、地域に開かれた大学として、大学で得られた成果を社会へ還元し、地域に貢献することも、今後重要な役割となると思われます。近年、国民の健康増進における生活習慣改善の意義は広く認められていますが、栄養はその中でも、最も重要なものです。京都女子大学栄養クリニックは、栄養の実践を通じた健康増進をめざして、平成20年度7月1日に開設されました。正直申し上げて、私自身このような新しい施設の設立に直接関わった経験を持たず、開設までには、いかに多くの作業を要するのかが、よくわかっていませんでした。個々にお名前を挙げることもできないくらい、学内外多方面の方々から、多大なご支援・ご厚情を頂いたことを改めて痛感致します。この場を借りまして、改めて御礼申し上げます。

初年度の活動内容の詳細は、次頁以降に記載の通りですが、教育・研究・地域貢献のうち、今年度は特に、地域貢献・社会への還元に関連した内容が多かったように思います。一方、卒業後管理栄養士として働いている卒業生を対象に、生涯学習講座を開いたところ、非常に好評を博しました。次年度以降も、地域への貢献・社会への還元は、栄養クリニックの重要な活動として、さらに伸ばしてゆきつつ、教育・研究の面での活動をも発展させ、栄養クリニックの活動の三本柱に育ってくれば、と考えております。

間もなく初年度を終えようとしておりますが、年度途中からの発足ということもあり、無我夢中のうちに、今日を迎えた感があります。皆様から多大なお力添えを頂いたことに応えるだけの仕事のできたのかと言われると、内心忸怩たるものがあります。次年度よりは、食物栄養学科の管理栄養士資格を持つ教員全員が、クリニック指導教員として加わることとなり、より充実した態勢での運営ができるものと信じております。

今後とも一層の、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成21年3月1日

京都女子大学栄養クリニック長

田 中 清